

## 1 5G&IoT部 5G サービス

# 5Gエリア拡大時を見据え 新たなビジネス領域への進出を目指す

5G&IoT部は、比較的少量のデータを扱う従来のナローバンドIoTと、高臨場リモートニーズや非構造データを扱うブロードバンドIoT (5G) の両輪で、NTTコム全社で進めるDXに資するソリューション・プロダクトの提供を目指している。そうした中、5Gサービス部門は、新たなビジネス領域への進出を戦略的に推進しており、本稿ではその一例について紹介する。

### 5G時代における ビジネス拡大の可能性

5Gは労働環境改善や社会課題解決を実現する技術の一つとして注目されており、5Gサービス部門はモバイルを軸とし事業組織や現場部門、デスクレスワーカーのDX推進に寄与することを目指している。

お客様の希望する場所を5G化するメニューや4K/8K映像・XR・MEC等の先進商材を約50揃えた。商材創出ではパートナー連携が不可欠であり、DX共創拠点も全国50超整えた。これらのアセットを活用しProduct Market Fitによるソリューション創出を行なっている。

5Gサービス開始後3年弱で約1,400件を受注し、地域を支える公共・医療・建設・運輸・製造等にリー



図2 IoTubeソリューション

チできる基礎が整いつつある。

### ネットワークカメラが 車両内の異常を検知・報告

最近の実用事例としてIoTube (アイ・オー・チューブ) がある。これは鉄道殺傷事件を契機にパートナーと進化させたソリューションだ。

AI機能を搭載したLED蛍光灯一体型多機能ネットワークカメラが、車両内のイベントを検知すると中央指令室と車両を映像と音声でつなぎ、異常事態発生時の迅速な対応を



NTTコミュニケーションズ株式会社  
プラットフォームサービス本部  
5G&IoT部 5Gサービス部門  
部門長 岩本 健嗣氏

可能にする。800万画素のカメラは、車両内の様子を記録し、平常時の見守り機能も備えている。同ソリューションは、位置情報・温度・煙・CO<sub>2</sub>等のセンサもあり、現場部門の方々からは更なる作業軽減等のアイデアを頂いている。

5Gは、2~3年後にはエリア拡大と共に、さらに通信速度や安定性が向上したインフラへと進化する見込みであり、遠隔地からもリアルに近い体感が得られる通信環境が整う。複数重機の連携作業を遠隔から安全に操縦する、映像AIによる施設や店舗の無人化する、高精細映像を活用した遠隔業務拡大や熟練工不足解消等、アイデア次第で可能性は広がる。5G拡大期を見据え、より多くのモバイルユースケースを開拓したい。



図1 5Gサービス部門の取り組み